

湯たんぽの破裂事故

事故の概要

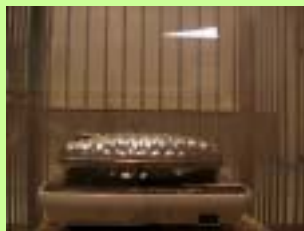
ガスこんろ、IHこんろ等で直接加熱が可能な金属製湯たんぽで、湯たんぽの中に入れた水を温めるため、こんろ等で加熱していたところ、破裂してアパートの部屋の窓ガラスが割れた、調理器を破損した、引き戸、テレビなどを破損する事故が、平成19年に5件発生しています。

事故の原因

NITE調査の結果、誤って、湯たんぽの口金（キャップ）をしたまま加熱したことから、内圧の上昇により、金属製湯たんぽが破裂したことがわかった。



金属製湯たんぽの一例



IHこんろでの再現実験



実験後の湯たんぽと
破壊されたIHこんろ



事故防止のために

- ◆ 金属製湯たんぽの中の水を、こんろ等で直接加熱する場合は、口金（キャップ）をしたまま加熱すると破裂し大変危険です。必ず口金（キャップ）を外して、加熱してください。
- ◆ 金属製でも、製品によっては直接加熱できない場合もありますので、必ず注意表示や取扱説明書を確認してください。
- ◆ 高温のお湯を扱う製品ですので、安全に使用するためには、加熱方法だけでなく、低温やけどの防止方法などについてもよく理解して、正しい方法でご使用ください。